

## 「子どもの貧困対策プロジェクト」の施策体系及び評価について

### ○ 趣旨

本年3月に策定した第2次「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」（以下、「プラン」という。）における、子どもの貧困対策プロジェクト（以下、「プロジェクト」という。）において支援策の方向性を施策の柱にて示したところではあるが、より計画的かつ着実に事業を推進するため、施策事業等についてあらためて位置づけを行ったことから、施策体系及び評価について協議するもの

#### <プロジェクトの概要>

平成30年度に実施した「子どもと子育て家庭等に関する生活実態調査」結果を踏まえ、従来から実施している「経済的貧困」対策に加え、体験や経験及び人との関わりが希薄となっているなど「関係性の貧困」にある子どもに関わる支援策の方向性を「5つの施策の柱」に体系化したもの

#### <プロジェクトの進行管理>

プロジェクトの進捗状況等を明らかにしながら、目標指標の達成度に対する評価を行い、事業効果や必要に応じた施策事業の見直しなど、効果的に推進する

### 1 施策を構成する事業について

#### (1) 類型化の考え方

プロジェクトの施策の柱ごとの基本施策の方向性の実現に向け、計画的かつ効果的に推進するため、国における「子どもの貧困対策に関する大綱」の重点施策を踏まえるとともに、事業の内容、目的、対象者等の観点から、基本施策に関連性の高い事業をあらためて類型化する。

#### (2) 構成事業（別紙3のとおり）

##### ア 施策の柱ごとの構成事業数

(ア) 経済的支援	27事業	
(イ) 学びの支援	13事業	
(ウ) 健康を支える生活習慣の支援	7事業	
(エ) 体験・経験の機会を得られる支援	21事業	
(オ) 親を支える支援	43事業	
(カ) 地域で支える支援	15事業	計126事業

※事業数は再掲を含む

【参考】プランの事業のうちプロジェクトの構成事業としないもの

計78事業

- (例) ・結婚や出会いに関する事業  
 ・子どもの安全を守る事業 など

## 2 評価について

### (1) 目標指標

プロジェクトの達成度に対する評価を行うため、「経済的貧困」と「関係性の貧困」に対する指標を設定する。指標の選定にあたっては、それぞれの貧困の状態を的確に把握することができるようプラン策定時に活用した指標を用いることとする。

### (2) 評価時期・目標値

#### ア 評価時期

子どもの貧困対策は即時に効果が出るものではなく、長期的な視点で効果を図る必要があること、また、「関係性の貧困」の効果は、子育て家庭へのアンケート結果により子どもの生活実態を把握する必要があることから、前期計画終了時（令和6年度）とする。

#### イ 目標値

目標値について、国と県においては数値を示しておらず、また、本市独自に設定が困難であることから、当面は具体的な数値は示さず、「現状値からの改善を目指す」とする。

#### <目標指標>

貧困の種類	目標指標	アンケート調査からの算出方法等	現状値(H30)	目標(R6)
経済的貧困	子どもの貧困率（相対的貧困にある家庭で育つ子どもの割合）	子育て家庭の所得分布のうち、中央値の50%（貧困線）を下回る所得しか得ていない世帯の子どもの割合	11.9%	現状値からの改善を目指す
関係性の貧困	何らかの「関係性の貧困」の状態にある小学生の割合	「家庭学習」、「生活習慣」、「体験や経験の機会」、「親との関係」、「地域など周囲の大人との関係」5つの項目のうち1つ以上該当する小学生の割合	36.4%	現状値からの改善を目指す

### (3) 国や県が実施する検証・評価への対応

国や県が設定している目標指標のうち、本市において把握できる指標を経年で把握しながら、国、県の動向と比較し、「子どもの貧困対策」の進捗を管理・確認していく。

また、現在、国において、検証・評価方法の具体的手法が検討されていることから、その動向を注視し、必要に応じて、目標値を設定するなど検証・評価の仕組みを検討する。

#### 【参考】国・県の状況

##### ア 国の状況（令和元年11月策定「子供の貧困対策に関する大綱」）

###### ・目標指標

39個の指標を設定し、指標の改善に向け重点施策に取り組むこととしている。

###### ・評価

子どもの貧困対策会議において、施策の実施状況や対策の効果等を検証・評価し、これを踏まえて対策等の見直しや改善に努めるとしている。

なお、会議はまだ開催されておらず、検証・評価の具体的手法は不明である。

##### イ 県の状況（令和2年3月に策定「とちぎ 子ども・子育て支援プラン」）

###### ・目標指標

「生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学率（%）」を設定（基準値（H30）86.9%⇒目標値（R6）上昇を目指す）。

###### ・評価

具体的な施策の実施状況や施策目標の進捗状況を点検評価し、公表するとしている。